

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたい、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

春風が運んでくるもの

庭に植えた紅梅が早くもつぼみから開花を迎える頃となりました。先生方は、入学試験～卒業式～入学式の準備と「4月」「新年度入り」は多忙を極めることと存じます。民間企業もまた入社式～新人研修～新業績年度入りと大きな節目にあたります。当社では、3月までに採用した高卒入社正社員は総勢22名となりました。あらためてこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、このところの強風で、隙間風が入るわたしの部屋は早朝から雑巾がけをしたくなるような砂よごれを感じてせせと掃除をすることが増えました。窓ガラスの外面がうっすら黄色く感じるのは黄砂か、花粉なのか、ぞっとする季節の到来です。

街を歩く人の姿で自分の子供の頃と大きく変わった点は、ファッションやヘアスタイルだけではありません。大人から子供まで、マスクで顔を覆う人が当たり前の世の中になった点だと気づきます。



先日の突然の春一番に、普段の安い使い捨てタイプのマスクではなく値段の張るタイプを購入する羽目になりました。値段だけあって歴然とした使用感の差を感じ、「これが高付加価値戦略による差別化か」と感激しました。呼吸が楽で汗ばむこともない。ニオイもこもらずゴムひもで耳が痛くならない。プチ贅沢でもないですが「高いなりに良いモノ」消費が高まれば、企業努力を刺激するのです。ひとりの消費者としてこうした企業努力にも目を向ける余裕を持ちたいものです。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

 松本 隆一郎